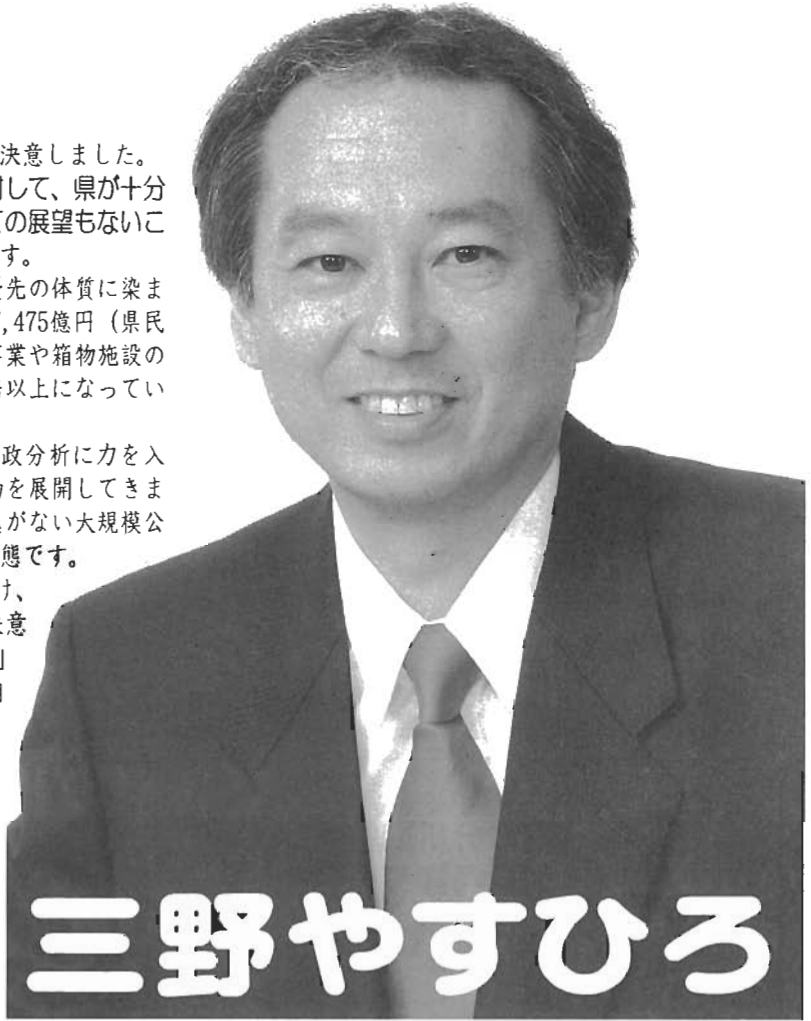


何とかしたい、県の借金。

三野の決意 子や孫が希望を持てる県政に。

今回私三野やすひろは、政治家として県政に参画しようと決意しました。
 そのきっかけは、「今日の県の財政危機に陥った原因に対して、県が十分な分析もせず、誰も責任を取る姿勢が見えず、再建に向けての展望もないことに対して、何とかしなければならない」という思いからです。
 これまでの県の姿勢は国の言いなりで、大規模公共事業優先の体質に染まり、場当たりの財政運営をしてきました。その結果が、7,475億円（県民一人当たり74万円）の借金です。借金の85%超が大規模公共事業や箱物施設の建設に使われました。そして借金規模は県の財政体力の3倍以上になっています。
 県庁職員生活25年の間に、同じ志を持つ職員とともに財政分析に力を入れ、県庁内部から財政再建に対する提言、県民アピール行動を展開してきました。財政再建の基本である「借金を減らす（その方法は急がない大規模公共事業の整理）」ことは、今日段階でもまだまだ不十分な状態です。
 私はこれまで力を入れてきた財政分析にさらに磨きをかけ、今度は県民の皆さんと一緒に、県政の運営を改革したいと決意しました。未だ未熟者ではありますが「将来を見据えた政治」「子や孫の将来世代が希望を持てる県政の実現」のために自分の思いのたけをぶつけてみたいと思っています。
 ぜひ、皆様のご指導、ご支援により「三野やすひろ」を政治家として育てていただきたいと存じます。



三野やすひろ

大赤字の香川県は今ひん死の状態。
財政・地方分権に詳しい議員が
今の香川には絶対に必要です。

【プロフィール】
 昭和31年に塩浜町で生まれる。香川大学経済学部を卒業後昭和55年香川県庁入庁。総務・土木・経済労働・環境保健・生活環境・政策部に25年勤め平成17年に退職。社会保険分務士・行政書士の資格を持ち、財政分析・地方分権論はもとより医療・年金制度、評認可制度にも詳しい。

県財政を立て直す

三野やすひろは具体的に提言し、実現のために行動します。



財政再建 実現のために 提言

財政再建を進めるうえで一番重要なことは、借金を減らすことです。現在の県債残高は7,475億円です。県民一人当たり74万円の借金を背負わされていることとなります。

人口が減少している中で、将来世代に過大な負担を残さない財政運営が求められています。

三野やすひろは次のことを提言します！

- 県債（借金）残高の上限額を、標準財政規模の2倍程度の5,000億円に設定すること
※標準財政規模……香川県が標準的な行政を運営するうえで必要な、県税収入など自由に使える金額（一般財源）の規模
このことを実現するために、当面、毎年の県債発行額（借金する額）を公債費（借金の支払額）の90%以内に抑えること。
- 公共事業は、建設国債という借金で実施できる仕組みであり、現在の借金（7,475億円）の85%は、大型の公共事業・箱物事業によるもの。よって財政再建の見通しが立つまで、大型公共事業を大幅に凍結し、維持・修繕・管理中心の、生活に密着した公共事業を展開し、地元企業の育成を図ること。
- 100億円以上の借金を伴う大規模事業については、その財源確保策を明らかにした上で、知事選や県議選に併せて、事業執行計画の賛否を問う住民投票を実施すること。

行動
します

財政分析講座で
財政再建策を発表



2005年5月22日 サンポート高松シンボルタワー国際会議場

独自の県財政分析は、講座などの機会を通じて発表、県財政の現状を報告するとともに、再建策と税金が県民のために有効に使われる方を提言、できるだけ多くの人に情報提供できるよう努めています。

環境に優しい社会 実現のために 提言



近年多発している、極端な日照りや集中豪雨（豪雪）の異常気象は、地球温暖化の進行と大いに関係があります。

環境問題でまず重要なことは、「地球環境は、人間が生きていくために、かけがえのない価値の高いもの」と認め合う社会をつくることです。

太陽光発電、バイオマスなどの自然エネルギーの活用、パークアンドライドの整備で公共交通機関の利用を拡大し、環境にやさしい自治体づくりを目指します。

三野やすひろが県に在職中、中心になって消費者、企業、行政の三者が連携協力する「グリーンコンシューマーかがわ」を設立したときの新聞記事

※グリーンコンシューマー = 環境を考えて行動する消費者

県民生活・地域経済のために 提言

里山・ため池・森林保全でみどり豊かなさぬき路を！

山林の荒廃は保水力が低下、水源確保や災害防止に悪影響が出ます。森林を社会的共通資本と位置付けて県が関与し、保全林協定の仕組みや環境林整備など緑の公共事業を実施します。さらに、里山・ため池の公園緑化などで自然にふれあえる地域づくりやウォーキングコースを設置し、県民の健康づくりに努めます。

休耕田・荒廃農地対策で産業育成・雇用創出

過疎化や高齢化などにより休耕田等が増え、農業衰退や環境悪化が懸念されます。法人化による地域営農組織を推進、農業従事者の法人社員化と、脱サラの就農希望者や60歳前半の退職者を受入れます。建設業者の兼業、転業にもつながります。

県民のより所となる中核の医療・福祉施設の整備

県民のより所となる中核の医療施設には、高度医療や特殊医療、救急医療を安定して提供できるように、また中核の障害者施設には、総合的な機能を確保し質の高い福祉サービスが提供できるように、物的・人的能力を確保します。

公契約に中小企業育成の視点を持ったルールづくりを！

県が発注する公契約に、地元企業優先制度をつくります。労務提供・業務処理請負契約の異常なダンピング防止のために最低制限価格制度を導入します。

県の過疎対策予算枠の創設を！

市町合併で、高松市のように海から県境までに至る大きな自治体もできました。山間部には、市街地の水源確保、環境保全、ごみ処理場などの機能がありますが、過疎地を放置することは、市街地に住んでいる人にも影響を与えます。市に任すだけでなく、県の役割として、過疎対策としての生活関連事業の予算枠を確保します。

行動
します



みなさんに学ばせてもらうため
脚を運びます

日頃より、皆さんのところに脚を運んでいろいろな話を伺わせてもらっています。より良い県政にするためには、多くの方々の話を聞き、政策に反映させることが大事であると考えています。

もっと様々な政策を具体的に提案できるよう、県民のみなさんに学ばせていただきます。

三野さんに期待!

三野さんに期待してぞくぞく激励の言葉が寄せられています。

元消費者団体役員

T. K さん

三野さんとは、消費者団体の講演に来てもらったからの付き合いです。

三野さんは、むずかしい話でも、わかりやすく、身近な話題を取り上げ、説明してもらえるものですから、皆さんに人気があり、県下各地から講演依頼が殺到しました。

そして、三野さんは先見性があり、仕事に取り組む姿勢も前向きでした。

こんな三野さんですから、政治の世界でも、生活者の立場に立った政治をしてくれる人だと確信しています。

頑張れ、三野さん、応援しているよ!

法政大学法学部教授
弁護士 五十嵐 孝喜

三野君と出会ったのは、地方分権講座で香川に呼ばれた時だ。その時、彼の香川県の財政分析の発表を聞いて「地方にも的確に分析する人材がいる」とびっくりした。彼のような人材が地方議会で議論を巻き起こしていけば、破産寸前の地方自治体にも灯りがともる。

これ以上、大規模公共事業を展開することはとても無理だ。貴重な財源は県民の真の幸せのための福祉などにまわさなければならない。

みんなで、理論的ファイター、三野君を県議会に送り込もう。



理論的ファイター三野君に期待する!

新しいタイプの政治家に

三野さんとの出会いは、6年前にネットワーク・グリーンコンシューマ かがわを立ち上げる時、当時県民生活課に勤務していた三野さんから会長の就任を依頼されたのが始まりでした。当時グリーンコンシューマ運動は日本での認知度は低く、全国的にみてもトップランナー的な存在でした。従って、行政が行う仕事としては先進的な取り組みであり、その旗振り役が三野さんでした。

環境問題を解決して利益を得るのは将来の世代です。つまり、目先の利益だけを追求する政治家、政党に束縛された政治家には環境問題は解決できません。もっと広い視野をもち、将来の日本のあるべき姿を見つめ、生活者の視点から、持続可能な自立した香川県を作るために努力する政治家が今求められているのです。

三野さんならできると思っています。

香川大学大学院教授

関 義雄

専門家からの激励

元衆議院議員
元県議会議員

三野優美 よしみ

ご無沙汰しております。今回、息子(康祐)が、「政治の世界」を目指すこととなりました。子供の頃から私の政治生活を見ておりますので、その厳しさは十分知っております。皆様方のご指導をいただき一人前に育てていただければ幸いです。



屋台からも応援

中央通り沿い(栗林公園北の端)でお目にかかれます。(月、水、金、18時)

あなたは今の県の内情を知っていますか?

僕も三野さんに会うまでは知りもしないし、関心もないというのが本音でした。が、県の職員だった三野さんから実情を聞くと「とんでもない」ということを実感させられた。

政治に無関心な人が増える中、三野さんの話を聞けば、無関心ではいわれなくなる。僕がそうだった様に!

現在県が抱える借金は県民である私たちひとり一人に降りかかる逃げられない問題である。何故県が今の借金を抱えなければならなかったのか?

それは過去の無責任な財政運営に問題があるからである。

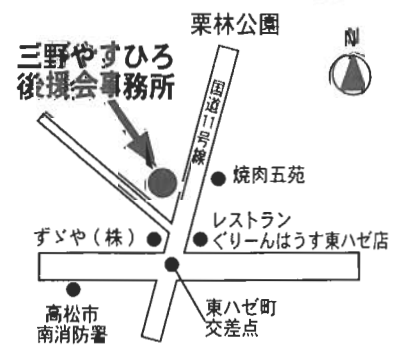
今、軌道修正しなければ借金は益々増える一方である。

こんな状況だからこそ、25年に渡り県職員として頑張ってきた経験に基づき、これからの香川を本気で考える三野さんに期待したい。

気紛屋 喜多竜巨

活動の拠点が完成!

高松市東八幡町12-11 竹内ビル
TEL 865-2133 FAX 865-4311



お気軽にお立ち寄り下さい